



聖路加国際病院 感染症科 医幹 編集 ● 森 信好
 聖路加国際病院 内科チーフレジデント 執筆 ● 矢崎 秀 石井太祐
 望月宏樹 孫 楽

第3回

血圧上昇

孫 楽

今宵のメニュー

1. 一過性の血圧上昇の原因を知る
2. 脳血管障害の降圧目標を知る
3. 高血圧緊急症と切迫症の違いを知る

First night

—当直にもそろそろ慣れて、夜勤にみんなで食べるクリスマスチキンを楽しみにしていると、いつものようにPHSが鳴った。救急外来に高血圧の患者が来たようだ。

研修医：降圧薬は自分で出したことがないな……とりあえず話を聞いてみよう。

～10分後～

チーフレジ先生、救急外来に血圧が高い人が来ていてご相談です。

糖尿病の既往がある58歳男性。飲み会の後に自宅で血圧を測ると、いつも125/70 mmHgのところか155/90 mmHgと上昇していたため、気になって救急外来を受診した。

研修医：たしかに病院の血圧測定器でも、収縮期が150 mmHgぐらいでした。患者さんは動脈硬化を心配されていましたし、何か降圧薬を出したいのですが……。

チーフレジ先生：病院でも血圧を再検してみたのはすごくいいね！ 帰宅直後のような運動の後だとそれだけで血圧が上がってしまうこともあるからね。1回のみでの血圧測定では2割程度、高血圧を過剰診断してしまうとの報告もあるんだよ¹⁾。

研修医：(本当は看護師さんが測ってくれたんだけどな……) 高血圧は間違いないので、降圧薬を処方してもいいですか？

チーフレジ先生：ちょっと待って。この患者さんは、たしかにもともと血圧が少し高いけど、今日はどうして急に血圧が上がってしまったのかな？

研修医：う……たしかにそれは考えてもみませんでした……。

チーフレジ先生：このシーズンは忘年会が多いから、塩分摂取が増えている可能性は高いよ。他にどんな一過性の原因が思いつくかな？

研修医：えっと、国家試験で覚えたのは褐色細胞腫とかでしょうか。

チーフレジ先生：たしかに褐色細胞腫の一過性血圧上昇は有名だね。でも、もっとよくみられる原因としてこんな覚え方があるよ。“WE UP SBP (systolic blood pressure)”で覚えてみよう。

一過性血圧上昇の原因^{2),3)}

White coat	白衣高血圧 (医療者による測定)
Exercise	運動
Urine	膀胱内の尿の貯留
Pain	疼痛
Smoking	喫煙
Beer	飲酒
Psychiatric	パニック発作・不安・精神的ストレス
その他	会話、周術期、不眠

研修医：“WE UP SBP”ですね、さっそく聞いてきます！

～15分後～

研修医：奥さんに怒られるから言えなかったらしいんですけど、よく聞いたら実は足の親指の付け根が腫れてすごく痛かったとのことでした。痛み止めを出したら血圧は120/70 mmHgに落ち着きました。

チーフレジ先生：痛風による疼痛が原因の血圧上昇だったんだね。どんなときも一歩引いて原因を考えて対処することが大事だってことを忘れずに！

Second night

研修医：血圧上昇のゴロも覚えたし、これで1人で対応できるかな。

—と思ったところでまたPHSが鳴った。

糖尿病・高血圧の既往があり、2日前に発症した脳梗塞で入院中の68歳男性。入院時、右上下肢の筋力低下があった。夜間にかけて血圧190/110 mmHgと高値が持続するため、当直コールとなった。意識清明、体温36.5℃、血圧190/110 mmHg、脈

拍数60回/分・整、呼吸数12回/分、SpO₂98% (room air)。

研修医：さっそくWE UP SBPを聞いてみよっと。

～15分後～

チーフレジ先生：チーフレジ先生、また血圧上昇で呼ばれました。今度は脳梗塞の患者さんです。このあいだ勉強した一過性の血圧上昇の原因は何もなかったの、今度こそ降圧薬を出してもいいですか？

研修医：脳梗塞の患者さんって言ったね。発症はいつ？

研修医：……カルテを見ると、およそ48時間前ですね。

チーフレジ先生：2日前だね。脳梗塞の患者さんではどうして血圧が上がっていると思う？

研修医：血管が詰まっているから……なんかがんばって血流を保とうとしているんでしょうか？

チーフレジ先生：そのとおりだよ。前々回(10月号)も出てきたように、なんとかぎりぎり保っている領域を「ペナンプラ」というんだけど、その血流を保つためには高い血圧が必要だよ。逆に、その場合に血圧を下げたらどうなるかな？

研修医：血流が減るので……脳梗塞が悪化する可能性もあるのでしょうか。

チーフレジ先生：そうなんだよ。だから脳梗塞の急性期にはかなり慎重に降圧を行う必要があるよね。実際には血圧が高すぎても低すぎても再発が増えることが知られているよ⁴⁾。いろいろな降圧目標があるけれど、日本のガイドラインではこんな目安があるのを知っておこう⁵⁾。